



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年10月31日

同友会・青友会合同交流会を開催



同友会・青友会合同交流会

青森問屋町経営同友会（同友会）と問屋町支店長・所長の研修会をはじめ、問屋まつり（青友会）の合同交流会が9月12日（金）、ダイニング椿で開催された。交流会には両会会員及び事務局職員合わせて、43名が参加した。同友会は組合員の若手経営者および後継者で組織され、昭和55年に発足し、今年で35年目を迎える歴史ある会。同会では会員の自己研鑽のため

の研修会をはじめ、問屋まつりの運営や合同清掃の前身である合同ごみ拾い、ハイキングや体力測定などの組合員従業員のための福利厚生事業も行ってきた。一方の青友会は、問屋町内に本社を置かない支店や営業所の方々の意見を組合運営に活かすための情報交換や組合員間の親睦交流を深める場として平成20年に発足。支店や



名刺交換する参加者

営業所の団地内責任者で組織される同会の会員数は55名を数え、組合活動の活性化にも大きく寄与している。両会は、合同ゴルフコンパでの交流はあったものの、それ以外には会独自で会員相互の研鑽や親睦交流を図ってきた。今回は、問屋町内の交流を更に促進すべく、初の試みとして合同交流会が開かれた。同友会の柿崎会長と青友会の前田会長による挨拶の後、青友会の佐々木副会長による乾杯の音頭で懇親会がスタート。両会会員間では初対面の方も多く、懇親会開始後は、会場のあちらこちらで名刺交換する姿が見られた。参加者全員の自己紹介スピーチも行われ、お互いを理解するのに一役買った。両会会員の親睦が深まる中、交流会は大盛り上がりうちに終了した。

町おこしに積極的な七戸町を視察

企画情報委員会（佐治委員長）では、9月25日（木）、公共施設等視察会を開催した。今回視察したのは、東北新幹線七戸十和田駅開業を契機に町おこしに積極的に取り組み七戸町。

多く展示。七戸町教育委員会世界遺産対策室の小山室長が世界遺産登録を目指す同貝塚について解説した。その後一行は、平成14年に廃線となった南部縦貫鉄道旧七戸駅を視察。同所では、鉄道廃止後も鉄道会社や愛好家の手により駅舎や線路等が大切に整備され、レールバスは現在も走行できる状態で保存。イベント時には体験乗車ができ、多くの人を集める。



貴重な出土品の前で記念撮影

共同物流センターに公衆トイレ新設

組合では、第二問屋町にある共同物流センター北側に公衆トイレを新設した。



同所前には2棟の共同倉庫があり、常時多くの利用者がおり、トイレ設置を求める声が寄せられていた。そこで、利用者サービス向上を図るべく、今回の設置となった。倉庫利用者以外でも利用可能だが、利用時間は平日の午前8時30分～午後5時までとなっている。



問屋町ハロウィンパーティーの開催と承認

第6回理事会

労務対策事業や組合管理施設の改修工事の実施等を審議する第6回理事会が9月29日(月)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、防災訓練や婚活パーティー、リサイクル品回収ボックスの設置等について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり
一、事業委員会からの意見について

組合管理施設の屋根改修工事の実施が承認された。

二、労務対策委員会からの意見について

第2回問屋町ハロウィンパーティーや第38回問屋町ボウリング大会の開催が承認された。

三、環境対策委員会からの意見について

四、防犯カメラ設置検討特別委員会からの意見について

五、つなぎ資金の借入について

六、青森問屋町配送(株)の保証について

七、平成26年度第7回理事会の日程等について

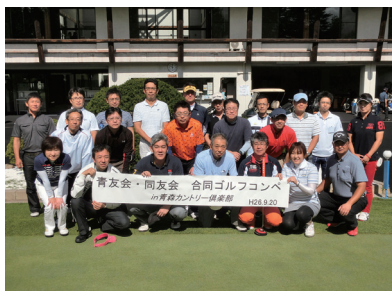
理事会終了後には、青森卸センター(株)の第4回取締役会並びに青森問屋町配送(株)の第

青友会向友会合同ゴルフコンペ

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)・青森問屋町経営同友会(同友会)の第12回合同ゴルフコンペが9月20日(土)、青森カントリー倶楽部で開催された。同コンペには、両会会員とオブザーバーを含む25名が参加した。

コンペは、同友会の柿崎会長による開会の挨拶の後、午前10時10分スタート。当日は不安定な秋空の中、少々雨に泣かされた組もあったが、珍プレー好プレーに一喜一憂しながら楽しくラウンドした。

プレー終了後には表彰式を実施。今回も各社からの協賛品が多く寄せられ、盛大に行われた。



合同ゴルフコンペ

2回取締役会も開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

素敵な出会いを探して

問屋町婚活パーティー

今回で4回目となる問屋町婚活パーティーが9月19日(金)午後7時30分より、市内のKenKenビア・ファクトリーで開催された。同パーティーは、当初定員40名で募集していたところ申込が殺到し、定員を増加。男性25名、女性24名の計49名が参加して実施された。

パーティーではフリートークやローリングトークを行い交流。最後に意中の人をカップルカードに記入し、1組のカップルが成立した。



婚活パーティー

は、今回で3年、4回目の開催となり、延べ169名が参加。これまでに7組のカップルが成立した。

ビジネスブックカフェ通信

vol.3

今回紹介するのは、矢野薫著「NHK式心理学 一分で一生の信頼を勝ち取る法」(ダイヤモンド社) ¥1,800円(税抜)。

「ビジネスパーソンは第一印象が大切とはよく言われる言葉です。実際、初対面の人と会ったときに「なんとなく信頼できそうだ」とか「どうもウマが合わなそうだ」とか漠然と心の中で判断しているケースは少なくありません。本当にウマが合わないなら、それはそれでしょうがないのですが、話し方のちよつとしたクセなどで判断されているとしたら本当にもったいない話です。



初対面の人を自己紹介やプレゼンなど人前で話す機会意外と多いもの。会う人会う人から信頼を勝ち取りたいですね。(聖幸・評)

青森問屋町簡易郵便局 年賀はがき販売開始

青森問屋町簡易郵便局では、平成27年用お年玉付年賀はがきの販売を開始した。

おなじみのデザインやいろいろ年賀はがきの他に、今年人気キャラクターのハロキティの年賀はがきを新たに販売。

同はがきではキティちゃんがデザインされる他、スマートフォン等ではがきの二次元コードを読み取りアプリをダウンロードすると、キティちゃんの動画や写真撮影が楽しめるAR機能もついている。

問屋町たんしん

①第38回問屋町ボウリング大会

日時 11月21日(金)
午前7時~午後9時
場所 イーストボウル(青森市小柳)

参加料 1人2,100円

②インフルエンザ集団予防接種
日時 11月13日(木) 20日(木)

場所 問屋町会館
午後1時~午後3時
2階大ホール

料金 1人2,000円
どちらもお問合せ、お申込みは卸センター業務部(☎73814711)まで。

【冬季間 網戸を保管します】

ネット貼替えなど→来春 お届けいたします

株式会社 K G アンサンブル

【旧 工藤硝子株式会社 創業62周年 会社名が変わりました】
〒030-0131 青森市問屋町1丁目5番11号

サービスセンター までお問合わせ下さい!
0120-579-910

☆☆ 保管スペースに限りがありますので お早目に ☆☆

SINCE1906

- 計量器製造(経済産業大臣) ●計測器修理(青森県知事)許可
- 建設業登録 ●機械器具設置工事業(青森県知事)許可(般・21)第15046号
- 電気通信工事業(青森県知事)許可(般・21)第15046号

衛星測量(GPS)・計量器全般・気象観測機器・理化学機器
測量機械・光波距離計・各種試験機・地震観測機器・製図用機械

株式会社 西衡器製作所

本 社 〒030-0801 青森市新町二丁目6番20号 TEL (017) 723-1311 FAX (017) 723-2368
青 森 支 店 〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目2番30号 TEL (017) 739-9555 FAX (017) 739-9557
八 戸 支 店 〒039-1521 八戸市卸センター一丁目5番16号 TEL (0178) 21-8100 FAX (0178) 21-8101
弘 前 支 店 〒036-8093 弘前市城東中央三丁目4番14号 TEL (0172) 26-3890 FAX (0172) 26-3891

秋の味覚を満喫

問屋町フルーツバイキング

問屋町フルーツバイキングが9月28日(日)、青森市幸畑の青森観光りんご園で開催された。昨年に続き2回目の開催となった今回は、組合員従業員やその家族47名が参加した。

観光りんご園の川村さんより園内の果物の収穫方法の説明を受け、りんごや桃、梨にブルーベリーなど、秋のフルーツを存分に味わった。

参加者により楽しんでもらうため行われた園内ゲーム「888gの果物を集めろ!」では、合計で888グラムになるよう各自が好きな果物を収穫し、近似値を競い合った。ゲームで収穫した果



フルーツバイキング

物は観光りんご園のご厚意により、参加者に持ち帰り用としてプレゼントされた。フルーツを堪能した後は、青森県産の肉や野菜のバーベキューを行い、採れたて新鮮野菜を使った手作りハンバーグも提供され、参加者のお腹を満足させた。

青函の逸品が大集合 津軽海峡ブランド博開催迫る

第二問屋町にある青森産業会館では11月22日(土)、23日(日)の2日間、今回で2回目となる「津軽海峡ブランド博」が開催される。

津軽海峡ブランド博では、北海道新幹線開業を来年度に控え盛り上がりを見せる、津軽海峡を挟んだ青森の東青地域と北海道の道南地域を中心に約80社が出展し、青函の逸品が一堂に会する展示即売会が行われる。今回は購入者特典として抽選で豪華賞品が当たるスタンプラリーも実施される。

開催時間は両日とも午前10時から午後4時までとなっている。



昨年のブランド博の様子

おり、入場は無料。フェイスマスクやツイッターで出展者などの最新情報を随時発信中である。「津軽海峡ブランド博」に関するお問い合わせは、実行委員会事務局(☎017-739-1181)まで。

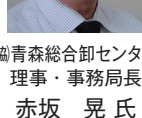
新役員に聞く!

「新役員に聞く」ラストを飾るのは、理事に就任した当組合の赤坂事務局長にお話を伺った。

当組合事務局職員としては最古参となる同氏は、昭和52年4月に入社。勤務年数は今年で37年を迎えた。入社当時

は総務課で会計業務、軽貨業務を担当。「今とは違い、便利な電卓・パソコンがなかった時代。計算はそろばん、元帳は手書きで、1つ間違えると書き直しとなってしまいうることも大変だった。だが、この経験で正確性や事務の効率化を学ぶことができた」と話す。

3年後には高度化事業を担当。配送センター、第二問屋町造成に関わり、今の卸団地の礎を築く大きな山を乗り越えた。「第二問屋町は、当初計画から色々変更があり、未確定用地を全て解消できたのは15年位前になる。これまでの苦労がようやく実った瞬間だった」と達成感を噛み締めていた。



青森総合卸センター 事務局長 赤坂 健二氏

平成6年には業務課に異動し、物流事業を担当。当時、卸売業で課題となっていたのが物流機能の効率化。そのため物流効率化の事業認定と共同物流センターの実現に奔走した。「実際に担当したのは実験事業からで、いろいろなるシステムを作り、どう

すれば効率的な物流が実現できるのか試行錯誤を繰り返した。物流事業は自分にとって一番おもしろかった仕事で、物流のシステム作りに関わったことで仕事のモチベーションが上がった」と楽しそうに語った。

卸団地にとって最も重要な仕事、が、やむを得ず倒産してしまつた組合員の跡地処理。「決して楽しい仕事ではないが、卸団地にとって重要課題であり、その仕事でできたことが自分にとっては大きな財産となっている」と様々な試練を乗り越えた苦勞が窺える。

新役員としての抱負を尋ねると、「役員と組合とのパイプ役に

編集後記

問屋町経営同友会と問屋町支店長・所長連絡会の初の合同交流会が開催されました▼両会はそれぞれ歴史・構成が違いますが、現在では組合活動を支える貴重な存在です▼卸団地の課題として「組合の求心力問題」がありますが、その求心力の基盤には、交流の積極性・活性化があると思います。そもそも協同組合は人的結合体です。今後とも各団体の交流は大事だと考えています▼転話題。先日の中企業団体青森県大会で「極点社会・新たな人口減少クライシス」と題する興味深い講演がありました。講師は元岩手県知事で元総務相の増田寛也氏▼その内容は2040年には全国896の市町村が、我が青森市も含め「消滅可能性都市」になるとするショッキングなものでした▼人口減少の要因は「2039歳の若年女性の減少」と「地方から大都市圏(東京圏)への若者の流出」の2点にあるとするものでした▼出生率の一番低い東京が、ブラックホールのように若者を飲み込んでいくイメージです▼対策としては「少子化対策」と「東京一極集中対策」を同時に行うこと▼根柢なき悲観論を排し「国民が基本認識を共有」し、適切な対策を打てれば、人口の急減は回避することができるとする内容でした▼最後に、質疑は無かったのですが、道州制論者だった氏に道州制との整合性を聞きたかった気がしました(藤本)



BD-V9700L(N) ヒナリサイクル 風アロン ビックドラム 日立ドラム式洗濯乾燥機



RZ-VS2M(N) 打込鉄釜 おひつ御膳 日立(日立)炊飯器

HITACHI Inspire the Next

日立コンシューマ・マーケティング(株)

東北支社青森支店

青森市第二問屋町四丁目2番14号 〒030-0113 Tel 017-752-6155(代) Fax 017-752-6156